

水島発電所3号機における配管肉厚の自主検査結果について

当社は、平成16年8月11日付経済産業省指示(「発電用火力設備の水・蒸気系配管の技術基準適合状況調査について」)に基づき、運転開始後20年以上経過した火力発電所(5発電所12ユニット)について腐食・浸食による減肉が生じる可能性のある配管部位の検査実施計画を、平成16年9月13日、経済産業省に提出し、配管肉厚の自主検査を順次実施しています。

水島発電所3号機(昭和48年2月運転開始)については、平成16年12月18日から平成17年1月27日まで検査を実施した結果、給水ポンプ出口配管^(注1)などにおいて、国の基準を下回る部分的な減肉が6箇所確認されたため、2月下旬までに該当部位の配管取替を行い、運転を再開する予定です。

なお、水島発電所1号機(昭和36年11月運転開始)、2号機(昭和38年8月運転開始)については、すでに検査を完了しており^(注2)、すべての部位について健全であることを確認しています。

注1 給水ポンプ出口配管:ボイラに水を送るポンプの出口配管

注2 検査期間: 1号機 平成16年11月13日～11月24日

2号機 平成16年 9月22日～ 9月27日

以上

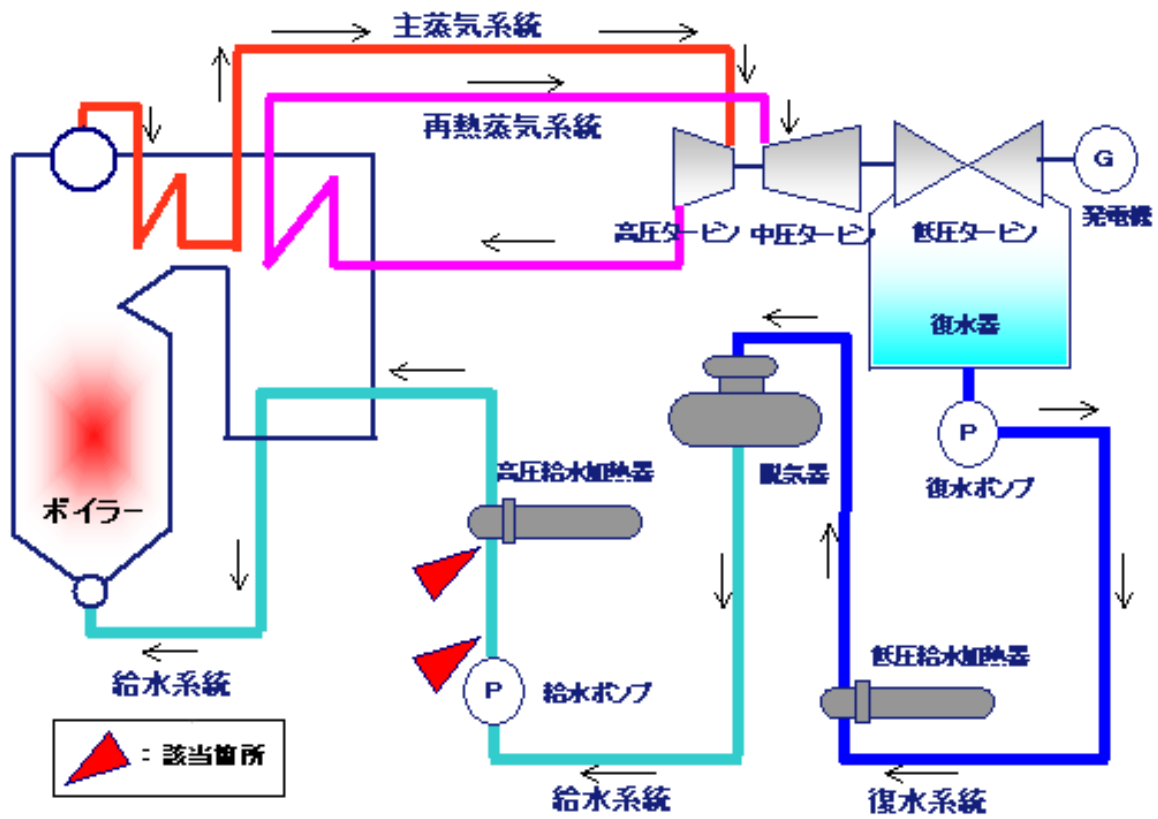
<参考>水島発電所3号機配管肉厚測定結果

部位名		外径(mm)	肉厚(mm)	技術基準 (mm)	測定 最小値 (mm)
給水ポンプ出口管	レジャーサ	318.5	33.0	29.0	27.8
		318.5	33.0	29.0	28.4
給水加熱器入口給水管	T管	406.4	42.0	37.1	36.3
	エルボ	267.4	28.6	24.4	23.8
		267.4	28.6	24.4	24.0
	レジャーサ	267.4	28.6	24.4	23.7

別紙:

- [1. 調査対象システムの概略図](#)
- [2. 調査対象部位の概要図](#)

調査対象系統の概略図



調査対象部位の概要図

